

平成27年度 第2回山北地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成27年10月13日 (火) 13:30~15:00
- 2 開催場所 山北支所 会議室
- 3 出席委員 齋藤寅二、本間美喜雄、佐藤庄平、齋藤昭夫、富樫保晴、齋藤玲子、齋藤千栄、渡辺美紀子、加藤英人
- 4 欠席委員 佐藤憲一、板垣茂樹、富樫榮晴
- 5 出席職員 五十嵐支所長、横山産業建設課長、渡辺山北教育事務所長
(事務局) 地域振興課：小田室長、齋藤係長、齋藤主任
政策推進課：竹内参事、渡辺(真) 主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成27年度 第2回山北地区地域審議会 会議次第

・日 時 平成27年10月13日(火)

午後1時30分～

・場 所 村上市山北支所会議室

1 開 会

2 挨拶(富樫会長)

3 報 告

(1) 高校生アンケートの分析結果について(資料1)

(2) 市民アンケート(地区版)の集計結果について(資料2)

4 議 事

(1) 各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について(資料3)

(2) 各地域の課題の整理について(資料4)

(3) その他

5 その他

6 閉 会(佐藤副会長)

氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠
佐藤 憲一	<input type="checkbox"/>	齋藤 寅二	<input checked="" type="checkbox"/>	本間 美喜雄	<input checked="" type="checkbox"/>
佐藤 庄平	<input checked="" type="checkbox"/>	齋藤 昭夫	<input checked="" type="checkbox"/>	板垣 茂樹	<input type="checkbox"/>
富樫 榮晴	<input type="checkbox"/>	富樫 保晴	<input checked="" type="checkbox"/>	齋藤 玲子	<input checked="" type="checkbox"/>
齋藤 千栄	<input checked="" type="checkbox"/>	渡辺 美紀子	<input checked="" type="checkbox"/>	加藤 英人	<input checked="" type="checkbox"/>

会 議 経 過

1. 開会 (13:30)

事務局： これより、平成27年度の第2回山北地区地域審議会を開催したいと思います。

2. 挨拶

事務局： 最初に、富樫会長からご挨拶をお願いいたします。

会 長： 皆さん、本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

今年も残すところ2カ月余りということで、忘年会の計画も立てなければという時期になったようです。しかし、その前にやらなければならないことも多くあり、今日はこの次第に添って皆様からのご意見をお聞かせ願いたいと思います。

よろしくをお願いいたします。

事務局： ありがとうございました。

【会議資料の確認】

それでは、3の報告事項に入ります。ここからは会長に議長を務めていただきたいと思います。

3. 報告

(1) 高校生アンケートの分析結果について

会 長： それでは、報告事項からお願いします。

まず、(1)の高校生アンケートの分析結果について、説明をお願いしたいと思います。

事務局： 【高校生アンケートの分析結果について説明】

会 長： 集計結果や内容については、皆様の資料で確認願います。

(2) 市民アンケート（地区版）の集計結果について

会 長： それでは、市民アンケート（地区版）の集計結果についてお願いします。

事務局： 【市民アンケート（地区版）の集計結果について説明】

会 長： 今ほどの報告で市民アンケートの結果を説明いただきました。的を得ているものもありますが、具体的なものが出てきていないような気がします。

それでは、次に議事の方に進みたいと思います。(1)各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について、事務局から説明をお願いします。

4. 議事

(1) 各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について

事務局： 【各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について説明】

会 長： 今ほど説明いただいた中で、皆様の方から質問等がありましたらお願いします。

会 長： 課題整理シートがありますが、本日はどのように進めればよいでしょうか。

事務局： せっかくの機会ですので、意見交換をした方がよいのではと思います。例えば各項目について、議論していただいたものを各自お持ち帰りしていただき、整理していただきたいと思います。本日は結論を決めずに、意見交換をお願いします。そのように会長に進めていただければと思います。

また、他の地域審議会でご説明しましたところ、全部挙げれば6項目全部を総合計画に反映させるのかという指摘がありましたが、全部を反映できるというお約束はできません。課題の中で優先順位をつけていきたいと思っております。

委員： 行政に直接関わらないもので、例えば路線バスの本数を増やすというような記載しても良いものですか。

事務局： 構いません。現状の把握を大事にしたいと思いますので、その中で行政が対応できるものはどれかというものを検討させていただきます。

委員： 資料2の17ページからいきますと、就労と医療福祉が大きな課題だろうとは思いますが、この中には含まれていません。この項目を選択した意図というものは何かありますか。

事務局： この区分の選択の基準ですが、就労の拡大は市全体として大きな課題だろうと思っておりますとともに、大きな市としての整理をしたいということです。医療については当初はあったんですが、どの地区においても通院の公共交通の問題等の関連が生じるものと思いき、ここからは外しました。医師の確保や診療科目の拡大、産婦人科の不足などは別の項目で挙げられるものであり、日常生活の課題からは外したということです。

(2) 各地域の課題の整理について

会長： それでは、今ほど説明いただきましたが、これから各課題について一括して自由なご意見をお願いしたいと思います。

第1次総合計画には織り込まれてはいたけども、実施されていない計画もあるようでございますので、そういったものを拾い出すなど、皆様からのご意見をお願いします。

委員： 各集落にあった商店がなくなってきました。早急に買い物難民といった問題解決を図るべきだと思います。各商工会が中心となった移動販売や複数の商店が1カ所ではなく合同で開催していることなどに関心があります。その情報をわかる方がいらっしゃいましたらお知らせ願います。

会長： 買い物困難者問題対策というのは今ほど言われたように、各集落に商店がない集落も増え、酒屋もなく酒もたばこも買う所がない、また衣料品は村上地区やどこかに出ていかないと買えないという問題もありました。その中で買い物困難者対策の一環として、徳洲会病院は土曜日には全部の診療科が開くということで、そこに物売りをしてもよいという申し出もありましたので、既に2回ほど実施しています。確かに土曜日は人が多いのですが、出店者の方がまだ少なく、「もう少し出店者が賑やかと思っていたのに」という、期待したほどでなかったという人もおりましたが、全体の賑わいとしては、かなりの物がありまし

たし、惣菜などは、すぐ売り切れてしまったということもありました。また衣料品についても高齢者が買い物に行く機会はなかなかないことから、今のところ1店は出店しておりますが、皆様のニーズを聞いている様子で、これから衣料品についても充実していくことができるのではないかと期待しております。

また、生鮮食品等につきましては、軽トラ市も実施していますが、この辺の農家は売ることを目的としているものでなく、自家用の余りを出すことができるという程度の出品をしているので、今後それらの出店者を増やしていくことも考えたいと思っています。場合によっては、大きな産地とも提携してやっていくべきではとの話も最近出始めておりますので、これからどのように向かっていくかはわかりませんが、ひとつひとつできることから始めていきたいと考えている段階です。

委員： 店が少ないというのも、住民の人たちが満足できる状態ではないということはおわかりますが、山北地区内の出店者だけでやろうとすると、現在の品揃えとなるわけで、例えば、昭和30年から40年頃に旧山北町で開催していた市や、村上、鶴岡、温海の業者が来たりして、日にちを設けて市を開催するようなイメージのようなものができないのか、交通手段等も考えて利用できるようなことはできないのかなと考えます。

会長： 計画には載っていますが、なかなか実行に移すのは大変で皆様の声を聴きながら進めていきたいと思っています。

商工会でやっているということがありますので、まず商工会員に声をかけてから、野菜を作って売っている人や軽トラ市に協力している団体、業者の方などをお願いしているだけという現状ですが、今後は広げて進めていきたいと思えます。

また、この辺で作っていないようなタマネギの産地とか、越冬物の大根やキャベツなどを売りたいと軽トラ市のようなことをしているところもたくさんありますので、そのような方々と提携していければ、そういうことも考えられると思います。

商工会を中心としてだけでなく、行政からも絶大なるご協力をいただきながら、進めていきたいと思えます。

委員： 村上市全体としての課題や山北地区としてのいろいろな課題の検討がなされていると思いますが、会議の前段で参考になる情報を収集して提供して頂ければ会議がより一層深まると思えます。

交通についてですが、今までの経緯を見るといろいろ規制があつてできないこともあつたようですので、「こういう方法ならできる」というような情報なり勉強をするなりして、会議に臨む前に知識としてあれば一層意義のある会議になると思っています。

教育に関することでは、予算がなくてということをよく聞きますが、教育はとても大事な部分なので予算付けをもっと配慮してもらいたいと思えます。

委員： 買い物に関してはいろいろ取り組みをしている段階ではありますが、人が集まる場所としては、徳洲会病院やゆり花会館などの勝木・府屋方面になつてし

まいます。下海府地区は勝木・府屋方面からは離れているので、買い物は村上地区に行くにしても勝木・府屋方面に来るにしても同じような距離なため、交通手段がない人はどちらに行っても同じだという感覚の様です。

ヤマト運輸に話を伺うとネットスーパーで買い物をすることが大分普及していると言っていました。早川、馬下、桑川、浜新保、笹川など下海府、上海府では特に利用が多いようです。私も、仕事を持っていますので仕事が終わってから買い物に出かけるのはとても大変なため、よく利用しています。夜の8時か9時頃までに注文すると、翌日届くので大変便利です。地元の食材が皆様に行き届くような移動販売などが一番ありがたいことですが、毎日のことなのでネットスーパー等に頼ってしまうのが現状です。

交通に関してですが、たまたま今朝50代の娘さんと二人暮らしをされている70代の男性の方とお話をしたのですが、娘さんが村上病院に入院された際、毎日電車で村上病院にいる娘さんのところに通っているのだそうです。その方のお話では、電車も3時間に1本くらいで、電車の時間にちょうど良いバスもないので毎日大変だということでした。バスと電車が接続できるようなダイヤになればよいと思います。例えばタクシーとの連携で少人数でも予約すれば行きたい時間や帰りたい時間に短時間で行き来できるようになれば、高齢者の体への負担も少なく良いのではないかと考えています。きめ細かな公共交通を考えていかなければならないのではと感じています。

委員： 子育てに関してですが、私事を例にしますと小学生と保育園の孫がいて、小学生は3時過ぎ保育園児は4時過ぎに帰ってくるのを迎えに行くのが私の日課です。帰宅後は集落に遊び場が無いためにほとんど家の中で過ごしています。

家族の誰かは子どもたちを見ていなければなりません。

生活をしていくためには、親は仕事を辞めさせるわけにはいきませんから、私たちが見なければなりません。

また夕方からの習い事や、夜にはミニバスの練習などが週に何回もあります。父親が帰ってくるのは毎日夜9時過ぎですから、母親とじいちゃん、ばあちゃんと交代で送迎していますが、じいちゃん、ばあちゃんも大変だなあと常に感じています。

委員： この項目にはないかもしれませんが、子ども会は子どもの人数が少なく、青年団もなくなり、公民館や一番人数的に充実しているはずの老人会も役員のなり手がなくて会がなくなっている集落もあります。

食生活改善推進委員会も、高齢化して次の担い手がいないという現状です。ボランティア連絡協議会も高齢化してきて次年度から福祉まつりの主催は無理だということです。人口がある程度いた時の組織形態がずっと続いていて、今までと同じような形態では活動や事業ができなくなってきていると感じています。1人の方が何役も持っていて1人にかかる負担が大きいと思います。これに関しては地域全体で考えていかなければならないと感じています。

たくさんの事業を行っている地域と行っていない地域の格差がだんだん大きくなっているようで危惧しています。

交通に関しては、期待した公共交通が山北地区はなかなか進展していないため、はがゆい思いをしています。山北徳洲会病院の運行するバスは大勢が利用していますが、大きな新潟交通のバスはガラガラ空きで走っている状況です。お金をかけるところが違うんじゃないかという気がしています。

逆に徳洲会病院に補助してあげて、バスの運行数を増やしてもらい住民が買い物するのに便利になるようなルートも作ってもらう事はできないのかなと思っています。

委員： 私は60代ということで子育ても終わり、買い物も自分でできています。少子高齢化も受け入れているというよりは諦めているという状況です。

先ほどの徳洲会病院に関しては、行政でも支援できるところは支援して地域の核として考えていったら良いと思います。

子育てや買い物等については、子育て世代の人や、買い物交通に本当に困っている人の意見をよく聞くことが大事だろうと思います。

買い物困難についてはJAでも検討していますが、視点が組合員ですので対応の仕方は違ってくると思います。検討の中ではネットスーパーも検討しています。現在は食材の宅配を行っていますが、そこを切り口に実施できないかと考えているところです。

委員： 高校生のアンケート結果資料を興味深く拝見し私なりに集計をしてみました。「ここに住みたい」、「将来戻ってきたい」という人が半数近くいるという結果で大変喜ばしく思いました。ただ、「やりがいのある仕事がありません」ということでした。私が考えるには、この地域には海山川があり様々な産物がありますので、小規模でもよいので地域の多様な産物を活用した加工品を作る企業を創設させ、その創設を支援する施策を行うと面白いものができるのではないかとデータを見て感じました。

委員： 私は委員の中では年配になりますが、戦争を知らない人たちが多くなり知らないことを教えるということが大変難しいことだと感じています。

私が青年時代はこの山北地区は県内でも有数の農林業が盛んなところでした。30代から40代頃は田んぼも盛んに耕作し、木もどんどん植え現在の価格の何倍もの価値になった。また出稼ぎでお金を稼いでくるなどとても裕福な山北村、山北町でした。

そんなことを経験したうえのことですが、最近はいろいろな会ですぐ世代交代と言いますが、いざ世代交代しようとする担い手がいないという現状です。

地域審議会というのは非常に大事な会です。村上市が合併しても地域がますます発展していくようにとの目的で立ち上げた地域審議会です。諮問だけでなく、要望事項をどんどんと行政に働きかけていくような会、そして提案だけでなくそれを実現していく会にしていかなければならないと思います。それには、視察や研修をして資質を高めていかなければなりません、当然経費が掛かるため予算付けをしていかなければならないだろうと思っています。

交通については、私も345号線を走っているバスを見ましたが何のために走っ

ているのだろうと、経費の無駄と思いました。まして電車に間に合わないようでは意味がありません。住民に対してきめ細かな配慮が出来るようにしていかなければならないと思います。

合併前は地域の代表の人が議員になり、それぞれの地域の問題を議会に提案して解決していっていましたが、合併後は山北地区からは3人の議員しかいませんから、この地域審議会の役割は大事な意義があります。

秋田県などは地域審議会に多くの予算がついていて活動も活発に行い、町の繁栄のために貢献しています。私はまずこの地域審議会の改革をしなければならぬと思っています。

会 長： 村上市の合併でいろいろなことが地域全般に浸透しないという懸念から、また地域の声に耳を傾けるという意味合いで、提言という形できたわけですが、今度第2次総合計画を作成するという目標もできましたので、委員の皆さんから様々な提言をしていただき、よく話し合っただけで第2次総合計画に載せていきたいと思っています。

事務局： それでは、次回に向けて皆様には「日常生活の課題整理シート」に箇条書きでよいので、「これがあれば良いね」「これはどうなっているの」というような事をまとめていただき、10月27日（火）までに山北支所自治振興室に提出をお願いします。

会 長： それでは中間報告、アンケート等を参考にしながら取りまとめの方をよろしくをお願いします。

(3) その他

会 長： ほかに何かありませんか。

委 員： 子育て支援や若者の定住に関する予算確保は最大限にやってもらいたいという地域審議会の意向を、予算配分まで反映されているのか伺いたいです。

事務局： 5地区の地域審議会及び総合計画審議会からあがってきた意見を慎重に検討していきます。今の段階でどのような予算かということはお答えできませんが、新市長も子育て支援に力を入れていこうという意向なので、どこの地域というのではなく市全体での子育て支援に力を入れていくのは間違いありません。

委 員： 8年におよぶ総合計画は民間の感覚からすると長いと思います。

事務局： 市町村によっては、10年、15年というところがありますが、8年というのは全国的にも短い方です。情勢が目まぐるしく変化する中で、もう少し短い期間にしませんかという提案をさせていただきたいと思っています。

委 員： アンケートについてですが、合併前のアンケート結果と比較できればいろいろと検証できてよいと思いました。

事務局： 今回のアンケートは合併直後のアンケートと同じ設問でしたので、市全体としてのものは把握できたと思いますが、合併当時に地域別では集計しませんでしたので、地域別では比較できませんのでご了承ください。

合併に関しては来年度、再来年度この地域審議会での合併の検証、また法律に基づき10年で終わりの制度ですから、これからの地域審議会をどのようにし

ていくのかということを諮問答申していきたいと思っています。

5. その他

会 長： その他について、何かありませんか。無いようであれば本日の議題を終了いたします。

事務局： 副会長が体調を悪くして本日欠席なため、山北支所長から閉会の挨拶をお願いいたします。

事務局： 本日はお忙しい中、慎重審議いただきありがとうございました。
皆様の貴重な意見を整理して進めていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

6. 閉会 (15:00)

